

当初計画年度	令和元年度
計画変更	令和7年度
都道府県	静岡県
所在地	御前崎市

土地改良事業計画変更概要書
農村地域防災減災事業
(ため池整備事業)
【ため池群箴川地区】

事業主体	静岡県
------	-----

土地改良事業計画変更概要書

1 計画変更を必要とする理由

本地区は令和元年度採択後6年を経過、ため池整備を順次実施し、令和8年度完了を予定していたが、下記理由により計画を変更する必要が生じた。

(1) 勝佐新池

① 堤体補強工

令和2年2月6日付け「フィルダム及びため池における堤体下流斜面の安定計算について(元農振大2806号)」の通知により、再検討した結果、下流側押え盛土量が増となり、これに係る費用を追加計上したい。

② 取水施設工

詳細設計の結果、既設取水施設が緊急放流機能を有していないことが判明し、緊急放流孔を追加設置する必要が生じたため、これに係る費用を追加計上したい。

③ 洪水吐工

詳細設計の結果、減勢工において必要壁高さが不足することが判明し、嵩上工を追加整備する必要が生じたため、これに係る費用を追加計上したい。

(2) 中田西ヶ谷池

① 堤体補強工

令和2年2月6日付け「フィルダム及びため池における堤体下流斜面の安定計算について(元農振大2806号)」の通知により、再検討した結果、下流側押え盛土量が増となり、これに係る費用を追加計上したい。

② 取水施設工

当初計画では取水ゲートの補修のみであったが、堤体補強工の変更に伴い、既設取水施設の撤去が必要となったことから、全面更新の必要が生じ、これに係る費用を追加計上したい。

③ 洪水吐工

洪水吐は老朽化による損傷、流下能力不足による改修を計画しており、堤体補強工変更(盛土増)に伴う余水吐構造の変更による必要な費用を追加計上したい。

(3) 唐木ヶ谷池

① 堤体補強工

令和2年2月6日付け「フィルダム及びため池における堤体下流斜面の安定計算について(元農振大2806号)」の通知により、再検討した結果、下流側押え盛土量が増となり、これに係る費用を追加計上したい。

② 取水施設工

詳細設計の結果、既設取水施設が緊急放流機能を有していないことが判明し、緊急放流孔を追加設置する必要が生じたため、これに係る費用を追加計上したい。

③ 洪水吐工

詳細設計の結果、減勢工において必要壁高さが不足することが判明し、嵩上工を追加整備する必要が生じたため、これに係る費用を追加計上したい。

2 変更の内容

(1) 地域及び地積

① 地域

地区編入される地域 . . . 該当なし

地区除外される地域 . . . 該当なし

② 地籍

現況地区面積 . . . 変更なし

工区別地積 . . . 該当なし

事業目的別受益面積 . . . 変更なし

(2) 主要工事計画

① 工事別内訳

工種	変更前	変更後
堤体改修工	3箇所	3箇所

② 事業費

(単位：千円)

費目	変更前	変更後
事業費	253,000	360,000
事務費	12,000	18,000
計	265,000	378,000

③ 工事予定期間

費目	変更前	変更後
着工	令和2年度	令和2年度
完成予定	令和8年度	令和9年度

(3) 換地計画の概要の変更 . . . 変更なし

3 変更後の土地改良事業計画の概要

土地改良事業の(変更後)計画概要

第1章 目的

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

第2章 地域の所在及び現況

1 地域の所在 静岡県 御前崎市 比木

2 地 形 本地区は、牧之原台地が遠州灘と駿河湾に突き出した静岡県の中西部の南端部に位置し、北は牧之原台地の丘陵地帯、中央には新野川水系の沖積地、南は遠州灘海岸の砂丘地帯を形成する。

3 気 象 気候は、年間平均気温は16℃前後と温暖であり、降水量は年間降水量1900mm前後の多雨多湿である。冬は日照時間が長い反面、西北風は激しく連日吹き続けることが多く、「遠州のカラッ風」と称されている。

4 地質・土壌 地区周辺の地質は、丘陵地を構成する新第三紀の相良層群と称される堆積性軟岩である泥岩による一方、丘陵地の開析部および新野川の流域は未固結で軟弱な土質で構成されている。

5 水利状況 御前崎市では、かつて用水確保に苦慮した経緯から、市内にため池が存在し、現在も農業用水として利用されている。
本地区においても、明治時代以前に水不足による農作物の被害軽減を目的にため池が築造され、これまで行政及び管理組合等が適切な維持管理を行ってきた。地震や洪水等に伴い、堤体の決壊により下流域への直接的な被害のほか、間接的な営農被害が発生する恐れがある。

6 営農状況 本地区のある御前崎市は、基幹作物である茶や施設園芸のほか、砂地を活かした野菜栽培が展開されている。なお、本地区のある御前崎市北部では、河川沿いの緩傾斜を利用し、水稻を主とした営農が行われている。

第3章 基本計画

耐震性点検の結果では地震時の安全率 1.2 を下回る結果となっており、災害時の被害を未然に防止するためにも早急な対策が必要である。

第4章 工事の要領

- 1 農業用ため池（かんがい受益 A=11.7ha）
 - ・堤体改修工 3箇所（堤体補強工、付帯施設改修工）

第5章 換地計画の要領

- 1 換地計画樹立の必要性
該当なし

- 2 換地計画樹立の基本方針
 - (1) 従前の土地の地積の基準 …… 該当なし
 - (2) 農用地集団化の方針 …… 該当なし
 - (3) 非農用地の換地方針 …… 該当なし

- 3 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る土地
…… 該当なし

- 4 換地処分の時期に関する制限
…… 該当なし

第6章 費用の概算

(単位：千円)

種 別	変更前	変更後
工事費	207,000	335,000
測量試験費	28,000	22,000
用地買収費	9,000	573
用地補償費	9,000	2,427
換地費	—	—
小 計	253,000	360,000
事務費	12,000	18,000
合 計	265,000	378,000

第7章 効用

(単位：千円)

区 分	年総効果（便益）額		年総増加農業所得額	
	変更前	変更後	変更前	変更後
食料の安定供給の確保に関する効果	△177	△240		
作物生産効果				
国産農産物安定供給効果				
営農経費節減効果	△126	△171		
維持管理費節減効果	△51	△69		
農業の持続的発展に関する効果	18,754	26,142		
災害防止効果（農業関係資産）	18,754	26,142		
農村の振興に関する効果	43,009	38,815		
災害防止効果（一般資産）	43,009	38,815		
多面的機能の発揮に関する効果	—	—		
災害防止効果（農業関係資産）				
計	61,586	64,717		
当該事業による費用	217,490	379,938		
その他費用	233,160	286,284		
総費用（現在価値化）	450,650	666,222		
総便益額（現在価値化）	1,265,525	1,817,507		
総費用総便益比	2.80	2.72		

第8章 他事業との関係

・・・該当なし

第9章 計画概要図

別紙のとおり

事業費の負担区分及び負担割合の予定、受益者分担金の負担方法及び造成施設の管理方法

1 事業費

単位：千円

区 分	変 更 前	変 更 後
工 事 費	253,000	360,000
事 務 費	12,000	18,000
計	265,000	378,000

2 事業費の負担区分の予定

区 分	国庫	県費	受益者分担		市町村負担金 (第91条第6項)
			土地改良区等 (第91条第1項及び第4項)	市町村 (第91条第2項)	
ため池群箴川	% 55	% 40	% —	% —	% 5
事務費	—	100	—	—	—

(1) 事業費は、物価の変動により増減する場合がある。

(2) 補助の対象にならない経費及び本事業推進上、特に必要な経費は受益者の負担とする。

3 受益者分担金の負担方法

・・・該当なし

4 農地の転用に伴う国費・県費の徴収

・・・該当なし

5 変更後の受益地域

市町	大字	字	地域
御前崎市	比木		※変更に伴い新たに編入する地域及び除外する地域はなし。

6 造成施設の管理方法

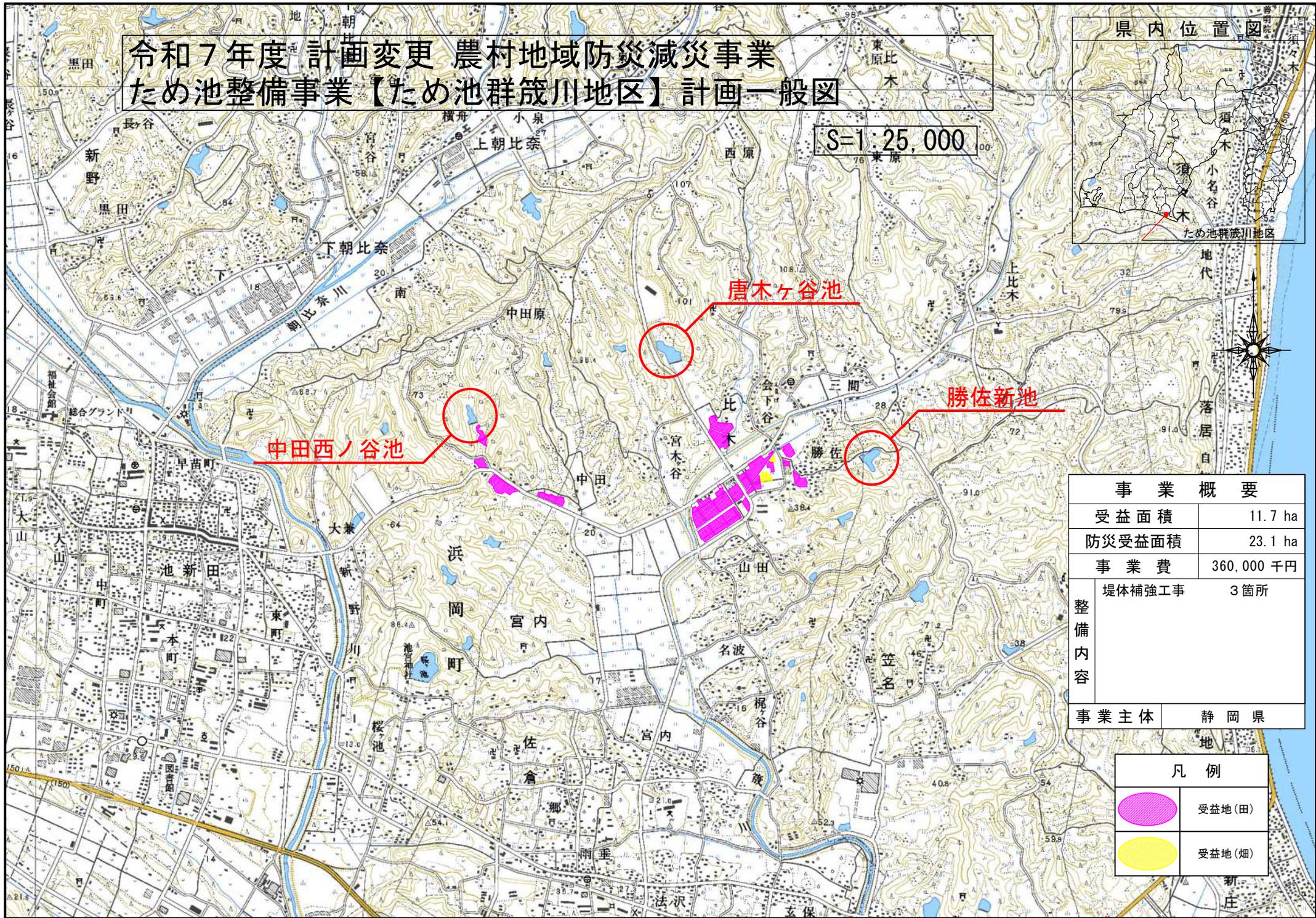
この土地改良事業により造成された土地改良施設は、御前崎市が静岡県から譲与を受け、条例に基づき管理する。

1 地区内の地目別地籍の合計調書

区分	地目	御前崎市	計	備考
民 有 地	田	11.2 ha	11.2 ha	
	畑	0.5 ha	0.5 ha	
	採草地			
	放牧地			
	山 林			
	原 野			
	小 計	11.7 ha	11.7 ha	
国 有 地 等	道 路			
	水 路			
	小 計			
合 計		11.7 ha	11.7 ha	

令和7年度 計画変更 農村地域防災減災事業 ため池整備事業【ため池群箧川地区】計画一般図

S=1:25,000



事業概要		
受益面積	11.7 ha	
防災受益面積	23.1 ha	
事業費	360,000 千円	
整備内容	堤体補強工事	3箇所
	事業主体	静岡県

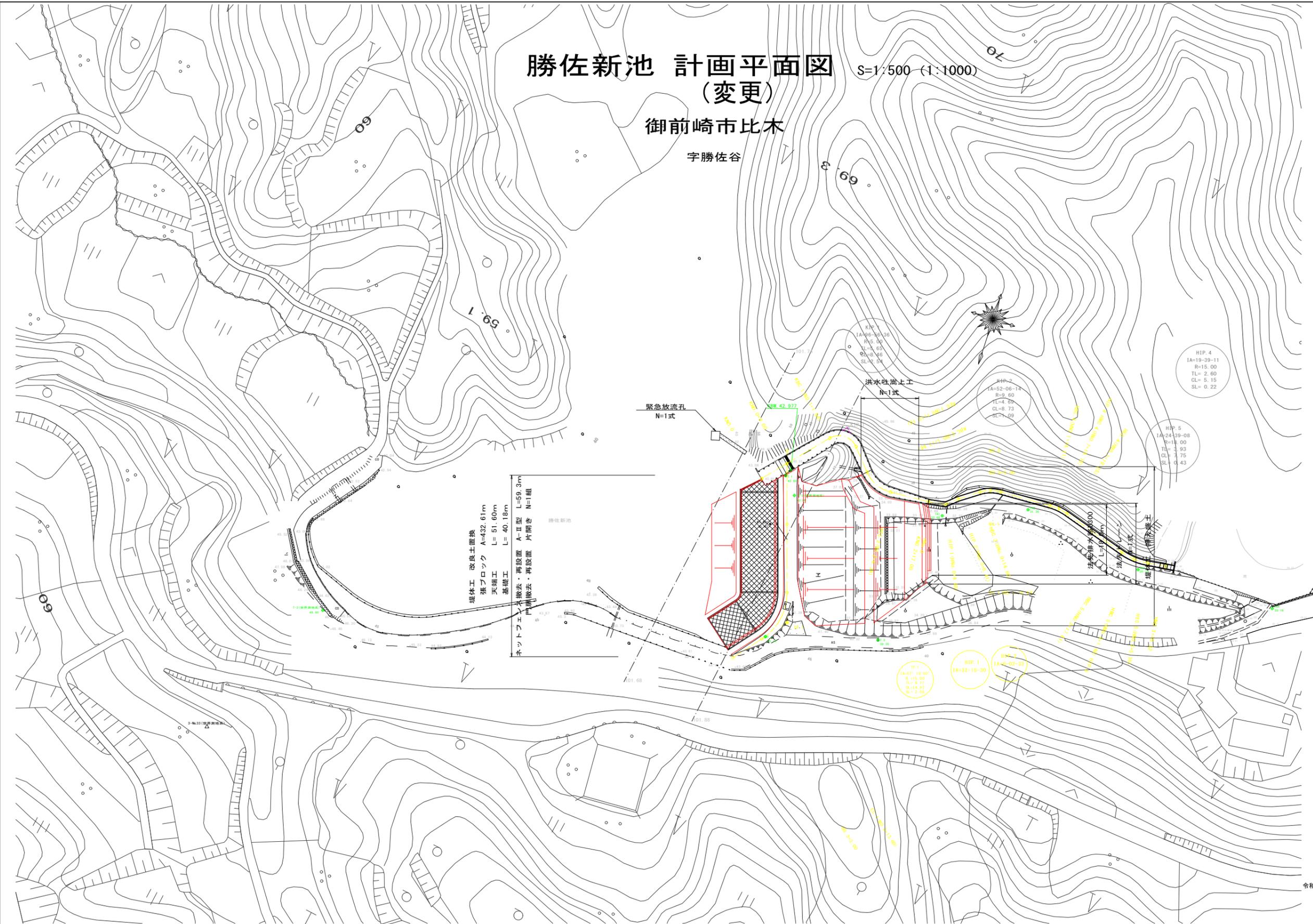
凡例	
	受益地(田)
	受益地(畑)

勝佐新池 計画平面図 (変更)

S=1:500 (1:1000)

御前崎市比木

字勝佐谷



堤体工 改良土置換
張ブロック A=432.61m
天端工 L=51.80m
基礎工 L=40.18m
ネットフェンス撤去・再設置 A-II型 L=59.3m
門扉撤去・再設置 片開き N=1組

令和5年度ため池群整備ため池群成川地区勝佐新池整備1工事

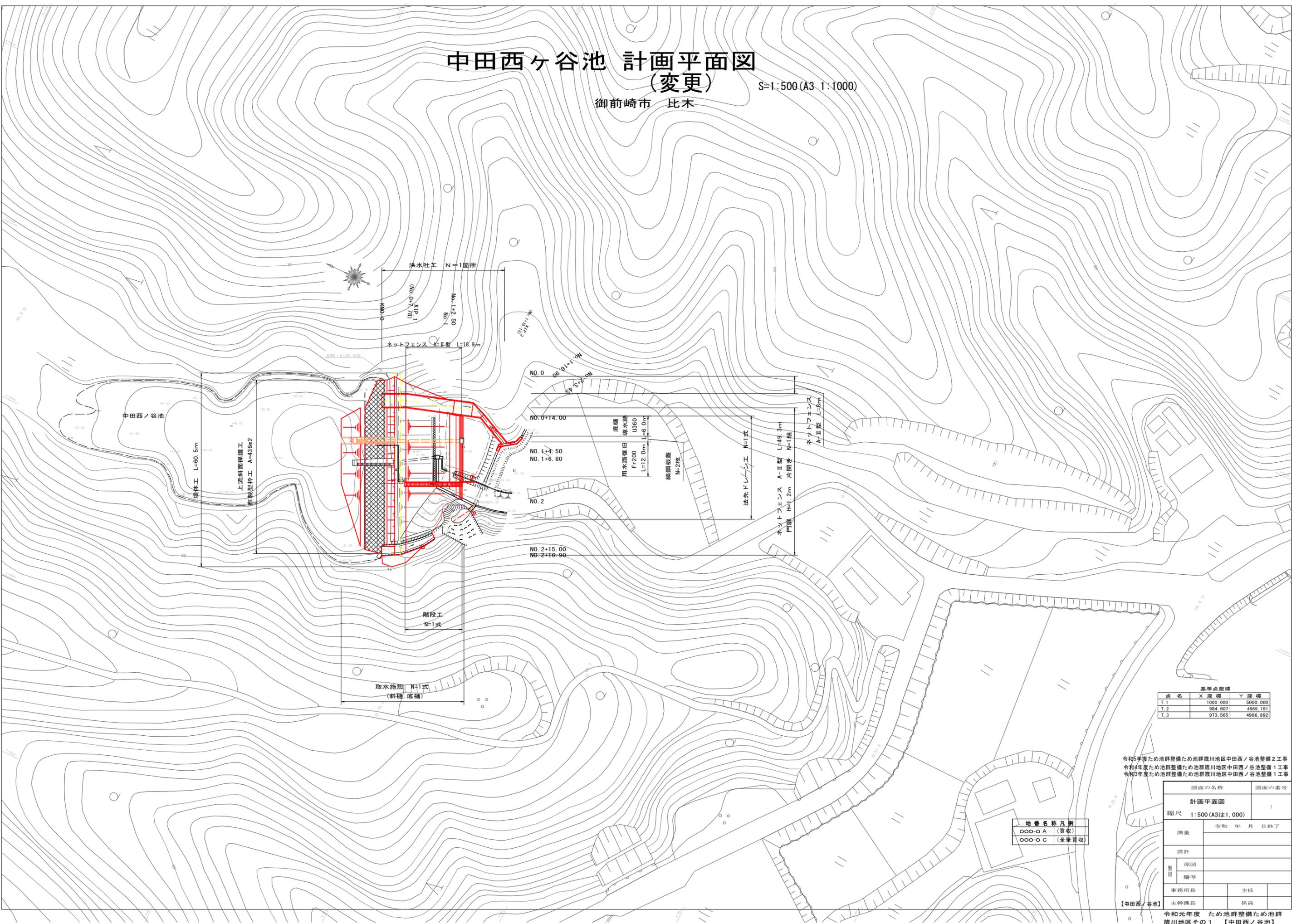
図面の名称		図面の番号	
計画平面図		1	
縮尺 1:500 (A3縮小1:1000)			
測量	令和 年 月 日終了		
設計			
製原図			
図騰写			
事務所長	主任		
主幹課長	係員		

【勝佐新池】
令和元年度 ため池群整備ため池群
成川地区その1【勝佐新池 ため池】

中田西ヶ谷池 計画平面図 (変更)

S=1:500 (A3 1:1000)

御前崎市 比木



基準点座標

点名	X座標	Y座標
T.1	1000.000	5000.000
T.2	984.607	4989.191
T.3	973.565	4986.892

令和5年度ため池群整備ため池群蔵川地区中田西ヶ谷池整備2工事
 令和4年度ため池群整備ため池群蔵川地区中田西ヶ谷池整備1工事
 令和3年度ため池群整備ため池群蔵川地区中田西ヶ谷池整備1工事

地番名称凡例

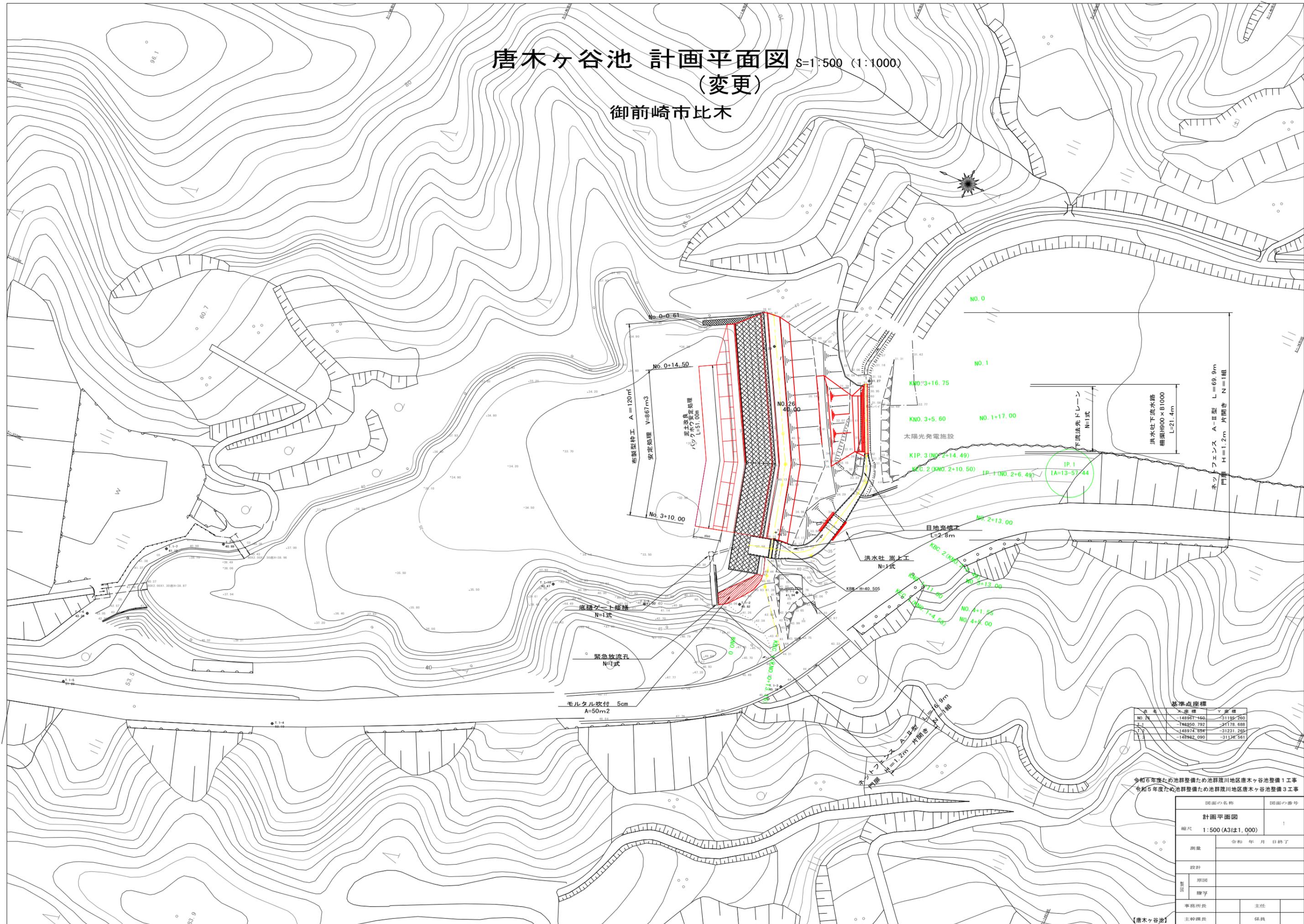
○○○-○ A	(買収)
○○○-○ C	(全筆買収)

図面の名称		図面の番号
計画平面図		1
縮尺 1:500 (A3は1,000)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
【中田西ヶ谷池】 主幹課長	係員	

唐木ヶ谷池 計画平面図 S=1:500 (1:1000)

(変更)

御前崎市比木



基準点座標

点名	X座標	Y座標
NO.24	-148961.160	-31195.260
25	-148950.792	-31178.688
26	-148974.888	-31221.255
27	-148982.090	-31128.581

令和6年度ため池群整備ため池群麓川地区唐木ヶ谷池整備1工事
 令和5年度ため池群整備ため池群麓川地区唐木ヶ谷池整備3工事

図面の名称		図面の番号
計画平面図		1
縮尺 1:500 (A3は1,000)		
測量	令和 年 月 日終了	
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

令和元年度 新規 農村地域防災減災事業 ため池整備事業
 ため池群 箴川地区 土地利用計画図 (1/20,000)

中田西ノ谷池
 唐木ヶ谷池 B-1
 勝佐新池

凡 例	
-----	市 界
———	農 業 振 興 地 域 界
-----	区 域 界
-----	地 区 界
A-1	区 域 ・ 地 区 番 号
■ (Blue)	田
■ (Yellow)	畑
■ (Green)	樹 園 地
■ (Orange)	農 業 用 施 設 用 地

凡 例	
■ (Pink)	受益(田)
■ (Yellow)	受益(畑)



計画書付図1号
 土地利用計画図
 御前崎市